

### 第36期第10回理事会議事録

日 時：2012年5月26日（土）18時50分～21時00分

会 場：つくば国際会議場（小会議室402）

出席者：新野，藤谷，岩崎，経田，近藤，田中，  
徳廣，中島，中村，藤部，三上，余田，  
佐藤(薫)，塩谷，高瀬，竹見，中村，廣岡，

藤吉，安成，以上20名（理事現在数27名）

欠席者：佐藤(正)，石原，黒良，郷田，須田，藤村，  
山田，以上7名

その他の出席者：瀬上，増田（大会実行委員会），  
田沢，萩原（事務局）

## 議 事

議事に先立ち新野理事長より春季大会を担当した気象研究所に対して感謝の意が表明された。

## 1. 2012年度総会について

総会資料、総会参加票の集計結果、総会の進行について確認した。

## 2. 2012年度秋季大会、2013年度春季大会の準備状況及び今後の担当機関について

標記に関して準備状況を確認し、2015年度春季大会の担当機関を筑波大学と周辺機関とすることを了承した。また、2014年度春季大会の開催場所について、2008年度の会場に一部せまい場所があったものの、費用面も考慮して以前と同じ会場を第一候補とすることを了承した。

## 3. 各支部の報告

北海道支部より秋季大会の準備が順調であることなどが報告された。

東北支部より支部理事会を近々開催する予定であることなどが報告された。

中部支部よりサイエンスカフェの実施状況などが報告された。支部会員資格の確認のタイミングについて、事務局から送付される名簿の集計日と各支部の実態を参考に、年度初め(4/1)とすることを確認した。

関西支部より年会・例会等を開催して例年通りに活動を行う予定であることなどが報告された。

九州支部より5/25に理事会を開催したことなどが報告された。

## 4. その他

## (1) 各委員会からの報告

気象研究ノート…過去の気象研究ノートについて、複製や配布の許可を著者から得ていない原稿の扱いが課題になっていることの報告。「天気」の経験等を参考に委員会で検討することを確認した。

- 一部の冊子について英文化の要望があることが報告された。

講演企画…2012年度春季大会予稿集の出版状況と提出の遅れた原稿の扱いについての報告。

- 2012年度秋季大会の申込締切日を検討し、予稿集刊行の工程等から7月はじめにすることが報告された。

総合計画…第36期評議員会の議事概要が天気6月号に掲載されることが報告された。

- 公益法人認定申請後、公益認定等委員会から定款等の修正指示があった場合には、臨時総会の開催を計画していることが報告された。

学術…「日本の気象学の現状と展望」の原稿内容について、会員に公開し、意見を募る予定であることの報告。

- 学術の大型施設計画・大規模研究計画の検討を進めることの報告。

教育と普及…公開気象講演会が盛況であったことが報告された。

- 夏季大学の講師が決まり、近々参加者募集を始めるとの報告があった。

各賞…新賞設置検討の進捗状況の報告。

国際学術交流…日本・中国・韓国気象学会共催国際会議の今後の開催について、AOGSの特別セッションの一つとする案を中国・韓国気象学会関係者に打診することを了承した。

電子情報…電子媒体化した気象研究ノートの掲載について、業者委託も含めて検討していることが報告された。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。

現在、章立てと執筆者候補の最終確認段階にある。

気象災害…5月27日に「5月6日の茨城・栃木の竜巻に関する調査研究報告会」を開催することの報告。

## (2) 科学研究費補助金の運用変更に伴う日本地球惑星科学連合の電子ジャーナル創設について

2013年度から予定されている科学研究費補助金の運用の変更に伴う、日本地球惑星科学連合独自の電子ジャーナル創設の動きが報告され、気象集誌などの既存のジャーナルとの関係など、学会としての課題や対応を検討した。

平成24年6月18日

社団法人日本気象学会

議 長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸